

私たちの活動

- ① 会員相互の親睦を深め、情報交換、勉強会を行っています。(相談し合い、励まし合い、支え合う)
- ② 子ども達の心身の発達、社会性の発達、生活空間の広がりをめざしています。
- ③ 自閉症についての知識を広げ、理解と協力を求める活動を行っています。
- ④ 自閉症の人達の人権を守り、社会参加の拡大を促進し、安心して生活できる社会を目指します。
- ⑤ 地域の行政を含む関係機関に支援の仕組み作りや改善の働きかけを行っています。
- ⑥ 一般社団法人日本自閉症協会に加盟し、国レベルの制度の創設や改善・改革に取り組んでいます。

- 自閉症児・者が安心して生活できる社会を求めてご一緒に活動しませんか。
- 年会費 : 2,500(円) 一般社団法人日本自閉症協会
- 2,000(円) 神奈川県自閉症協会
- 3,000(円) 地区親の会

入会のガイド

自閉症児・者が安心して生活できる社会を求めてご一緒に活動しませんか。

入会金はありません。

年会費 : 2,500(円) 一般社団法人日本自閉症協会

2,000(円) 神奈川県自閉症協会

3,000(円) 地区親の会

一般の方々のご支援をお願いするとともに、会の目的に賛同いただける方の入会を歓迎いたします。



賛助会費 : (一口) _____ (円)

★入会申し込み、お問い合わせは、

秦野・伊勢原地区自閉症児・者親の会
〒259-1316 秦野市沼代新町9-1
TEL・FAX 0463-88-4409

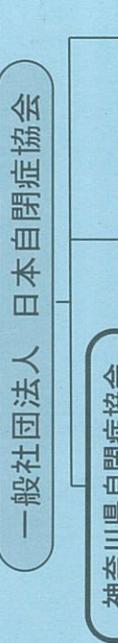
山 口 一 美

私たちの会の紹介

私たち「神奈川県自閉症児・者親の会連合会」は1968年3月3日に設立された親の会から発展し現在は神奈川県域11地区の連合体となり、各部会を加え「神奈川県自閉症協会」となっています。

国レベルの組織である一般社団法人日本自閉症協会の神奈川県下の各協会は2008年から下記となっています。

自閉症スペクトラム障害(自閉症、高機能自閉症、アスペルガー症候群)の人達を支援するため、各協会・各地区親の会で様々な活動を行っています。

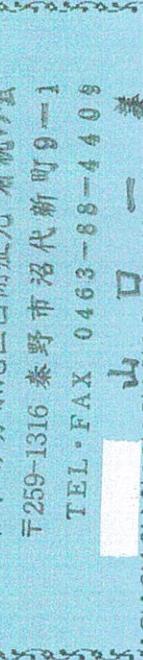


会員登録

毎年4月2日は国連の定めた世界自閉症啓発デー
4月2日～4月8日は発達障害啓発週間です。
(世界自閉症啓発デー・日本実行委員会は、全国各地で広く啓発活動が進むよう)に発達障害啓発週間を設けました。)



神奈川県自閉症協会
HP : <http://kas-yamabiko.jp.on.org/>
(会の詳細案内、問合せ先などは上記ホームページへ)
〒259-1316 秦野市沼代新町9-1
TEL・FAX 0463-88-4409



このパンフレットの作成には、神奈川新聞厚生文化事団のご援助を頂きました。

神奈川県自閉症協会 編

2015(1)

自閉症をご存知ですか？

自閉症(ピクトグラム)

自閉症児は一般に下の図に示すような特徴の少なくとも半分を持つています。また自閉症児は多様な場面で現れ、一貫して年齢不相応な行動を示す特徴的な行なものです。

『自閉症』は、脳の情報処理の機能が混乱している生まれながらの脳の機能障害です。知的障害やその他の発達障害、てんかんなどを伴って生じる場合が多いですが単独で生じる場合もあります。今日まで自閉症の原因は解明されていません。脳のどの部分にどんな障害があるか解っていません。知的な遅れのある人も無い人もいます。知的な遅れの無い自閉症の人にも同じ配慮が必要です。

◆一般的には生後2歳半くらいまでにあきらかになる一種の「発達障害」です。大人になつて診断される方もいます。

◆コミュニケーションすることに障害があります。言葉については、実際に話すことの可能な人で
も、その言い回しやイントネーションに特有な
パターンがある人や、実用的に使えない人が多
くいます。また、言葉をまったく話せない人達

◆また、社会的な関係を理解することが難しく、仲間と協調して遊べなかつたり、友達関係を築く能力が損なわれたり、相手の気持ちや感情を理解できなかつたりします。

『自閉症』は、大変誤解されていることが多いですが、
◇「無口の人」や「引っ込み思案の人」などといった内向的な性格のことを行なうのでは

- ◇「ノイローゼ」や「心身症」といった心の病気でもありません。
- ◇また、一昔前に言われていたような親の育て方や子どものおかれた環境的心理的な問題が原因ではありません。

どんな事が必要でしょうか

治療教育の目的は「自立」と「社会参加」です。それを可能にしていくために、

◆早い時期からの治療教育が必要です。乳幼児期からの総合的な療育は、自閉症の人達の予後に大きな効果をもたらしています。ですから早期に専門機関をたずねることが必
要です。

◆総合的治療教育の基本の一つは、障害の子とも自身にかかる働きかけであり、もう一つは、まわりの受け入れ、理解、設備、環境の要因をよくする働きかけです。

◆脳の情報機能が混乱しているので、知能面・運動面・社会面・言語面など各機能を統合するため、乳幼児期から一人ひとりに合わせた一貫性のある、組織的・計画的な治療教育が必要です。

- ◆ その為の治療教育機関が必要ですが、身近にあることや専門性の確保が重要です。
- ◆ 教育・発達訓練はそれを行う教育現場での専門性の確保が必須です。そして成長・発達段

- ◆ 成人に向かってかなり発達しますが、就労するようになつても、「自閉症」の基本的部分类が残り社会生活に支障をきたすこともあります。多くの人は、まわりからの援助を必要とします。

◆自閉症の人たちには、生涯にわたる支援、その人に合わせた合理的配慮が必要です。



視線が合わない

◆ その人に合わせた合理的な配慮が必要です。

この資料は、レンドル・ショート教授（オーストラリアのケインズランド大学ブリスベイン小児病院）の文献をもとに改定して作成したものです。